



BUSINESS REPORT

第48期通期事業報告書

2021年7月1日～2022年6月30日



Business Report 2022
第48期通期事業報告書

経営理念

Management Philosophy

私達は、チェーンレストラン事業を通じ、顧客・株主・従業員・取引先・社会の、精神的・物質的幸福を調和させ、その安定的増進を実現します。

ジョイフル 店員の誓い

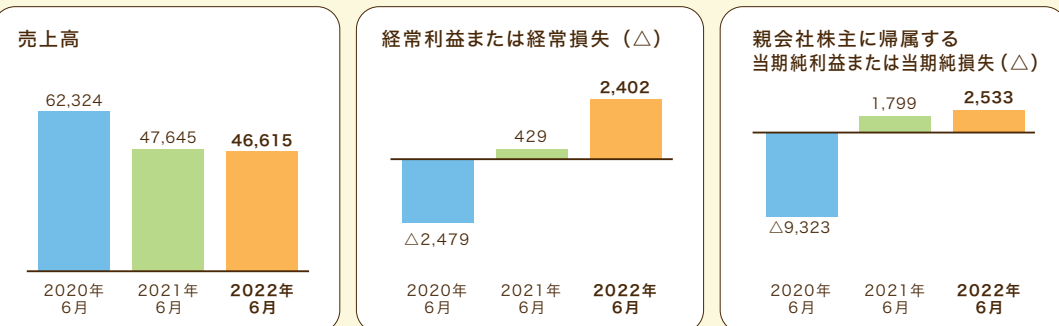
Our Promise

私達は、ジョイフルの旗のもと、信頼される品質の店、低廉な価格の店、どこにでもあって、いつでも開いている店、気軽に快く過ごしていただける店として、永続的・安定的に営業し、皆様に愛される店となります。

連結業績ハイライト

Consolidated Results

(単位：百万円)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、ここに第48期（2022年6月期）の通期事業報告書を作成いたしましたので、ご覧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様には謹んでお見舞い申し上げますとともに、1日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。また感染拡大防止にご尽力されている医療従事者や関係者の皆様に改めて敬意を表し、深く感謝申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化するなか、2022年も新たな変異株の急激な感染拡大が続き、企業活動および個人消費は厳しい状況で推移しました。さらに、原油価格や原材料価格の高騰、為替相場における円安の進行、ウクライナ情勢の長期化など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界においても、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い外食需要が再び減少に転じるなど、先行きの見通せない大変厳しい経営環境が続いております。また、テイクアウトやデリバリー販売といった感染動向に左右されにくいビジネス展開に取り組む企業の増加など、外食業界をとりまく環境が大きく変化しております。

当社グループでも、このような非常事態に対処すべく、当面のコロナ禍において十分な資金調達を実施することで中長期的な財務基盤の安定化を図ることを目的として、資本金劣後ローンによる資金調達やコミットメントライン契約の締結を行いました。

さらに今後の中長期的な成長戦略を実現するため、既存のイートイン事業はもちろんのこと、テイクアウトやデリバリー販売、量販店や通販サイトを通じた販売を強化するなど、子会社を含めたグループ全体のパフォーマンス向上に取り組んでまいりました。

商品施策では、既存商品のブラッシュアップを継続して提供品質の向上を進めると同時に、試験販売を繰り返してお客様の消費動向を慎重に分析した上で、グランドメニューの改定を2回、みなぎる食欲グルメ「夏フェア」などのフェアを6回行いました。

営業施策では、重点的な取り組みとして、料理のクオリティ

維持・向上を目的に作業チェックシートを見直してひとつひとつの作業の徹底を行い、良い品質で、見た目もきれいで、鮮度の良いおいしい料理を安定的に提供できるように努めてまいりました。

また、販売促進として、ジョイフルでのお食事を通じてお客様に喜んでいただけるものを提供したいという想いからコラボレーションを行っていたカリスマクリエイターヒカルにアンバサダーに就任していただきました。コラボレーション商品は全国のジョイフル店舗の他にスーパーやドラッグストア、通販サイトでも販売を開始し多くの方からご支持をいただきました。便利でお得なスマートフォン専用無料アプリ「ジョイフル公式アプリ」も更なる充実を行いました。

店舗展開につきましてはグループ直営4店舗およびFC1店舗の出店、グループ直営11店舗およびFC4店舗の退店により662店舗（グループ直営614店舗、FC48店舗）となりました。

新型コロナウイルス感染症に関して、政府による緊急事態宣言に伴う国民への外出自粛要請や各地方自治体からの営業時間短縮要請による売上高の急減、営業時間短縮中の給与や家賃など各種固定費の負担の影響は甚大な一方、時短営業協力金や雇用調整助成金等の助成金収入が発生したことで、当連結会計年度における経営成績は、売上高は46,615百万円（前期比2.2%減）、営業損失は3,104百万円（前期は営業損失3,373百万円）、経常利益は2,402百万円（前期比459.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,533百万円（前期比40.8%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社へのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長

穴見くるみ



※商品イメージ写真（実際に店舗で提供される盛付とは異なります）

2022年6月期 主な取り組み

ヒカル×ジョイフルコラボ企画の実施



ジョイフルでは長期化する自粛により楽しみが少なくなっている昨今の社会情勢において、ジョイフルでのお食事を通じてお客様に喜んでいただけるものを提供したいという想いからカリスマクリエイターヒカルさんとコラボレーションした新商品「ヒカル考案 冗談抜きで旨いハンバーグ」、「ヒカル考案 冗談抜きで旨いおかんの唐揚げ定食」、「ヒカル考案 冗談抜きで旨いグルメバーガー」、「ヒカル考案 冗談抜きで旨い牛焼肉定食」を全国のジョイフルにて販売いたしました。

皆様からのご支援のおかげをもちまして、いずれの商品も当社としては異例のスピードで販売数を伸ばしており、2022年8月23日にはシリーズ累計販売数が500万食と大変好調な販売を記録させていただいております。

まだまだ新型コロナウイルスの影響が大きく出ている厳しい状況ではございますが、皆様からの温かいご支援を忘れず、これからも多くのお客様に愛されるような商品を開発するべく、なお一層の努力を重ねてまいります。

ジョイフルオンラインショップの開設



スーパー・ドラッグストア等の量販店様・各ECサイト様・ジョイフルの店舗にて、多くの皆様に弊社の主力商品である「ジョイフルのハンバーグ たりやきソース ペッパー付き」、「ジョイフルのチーズインハンバーグ トマトソース付き」をはじめ、カリスマクリエイターヒカルさんとのコラボ商品「ヒカル考案 冗談抜きで旨いハンバーグ」を中心に販売させていただいており多くのお客様より大変ご好評をいただいております。

現在、自社サイトのJOYFULL x HIKARU SHOP、amazon、楽天市場、ヤフーショッピング、のECサイトで当社商品を販売し売上を拡大しております。

2022年11月1日より、店舗での人気メニューである「ジョイフルのプライムサイコロステーキ たりやきソース・ペッパー付き」に加え、電子レンジで温めるだけの「ジョイフルのチキンドリア」、湯煎タイプの「ジョイフルの直火焼きハンバーグ デミグラスソース付き」を販売いたします。

今後も多くのお客様に、ジョイフルの味をお届けできるよう努めてまいります。

SDGsへの取り組み

ジョイフルでは、持続可能な社会の実現への取り組みとして、大分市のフードバンク事業者「フードバンク東九州」様へ、従業員が家庭から持ち寄った食材を寄付いたしました。寄付した食材は、食べ物に困っている方や福祉施設に無償で提供されます。その他に、働きやすい職場環境づくりを推進することで、モチベーションの向上、労働生産性の向上、組織の活性化に繋がると考え、2020年から健康経営実施における目標を定め、「健康増進、生活習慣病予防対策」「メンタルヘルス対策」などを進めた結果、2021年3月に「健康経営優良法人2021（大規模法人部門）」に認定されました。また、2018年に認定された「くるみん」は、子育てサポート企業としての実績が認められ、2022年も引き続き認定交付されました。継続して実施しているプラスチック製ストローの提供廃止、バイオマス材料を配合したテイクアウト用袋の導入などのサービスや事業活動を通じて、今後も環境保全と社会の発展のため、取り組みを進めてまいります。



新店オープン

- 〈国内〉 ■ ジョイフル赤坂南部坂店（宅配専門）（2021年12月7日）
- ジョイフル佐世保中央公園店（2022年4月1日）
- 〈海外〉 ■ 台湾ジョイフル 龜山文青店（2021年12月31日）

※（ ）内の日付はオープン日です。





※商品イメージ写真（実際に店舗で提供される盛付とは異なります）

2023年6月期 主な取り組み

外部販売の拡大



2017年から開始した家庭用冷凍ハンバーグの外部販売は、九州エリアのスーパー・ドラッグストア等の量販店様から販売が始まり、現在では北海道から沖縄までの全国に販売エリアを拡大することができました。

商品に関しては、弊社の主力商品であります「ジョイフルのハンバーグ たりやきソースペッパー付き」を中心に販路が大きく拡大しております。

また2021年7月にはカリスマクリエイターヒカルさんとのコラボ商品を順次販売し、更に販路が拡大いたしました。

2022年9月1日からは、店舗で人気メニューの「ジョイフルのプライムサイコロステーキ たりやきソースペッパー付き」に加え、電子レンジで温めるだけの「ジョイフルのチキンドリア」、湯煎タイプの「ジョイフルの直火焼きハンバーグ デミグラスソース付き」を全国の量販店様で販売いたします。

今後も外部販売による販路拡大を進め売上高の確保に努めてまいります。



デジタルプロモーションの推進

皆様にご好評をいただいておりますジョイフル公式アプリは2021年11月下旬に3周年を迎えました。3周年に合わせ「1日に獲得できる来店スタンプ上限見直し」「アプリのデザインのリニューアル」「3周年記念キャンペーンの実施」「来店スタンプインセンティブの向上」などお客様にご好評をいただける機能を実装いたしました。その他にも各SNSを用いて情報発信・各種キャンペーンを積極的にお客様に発信することにより、お客様との距離を縮め更なる顧客満足度の向上だけでなく、シェアやハッシュタグの機能を用いての潜在顧客との繋がり強化による集客経路拡大にも寄与しております。



店舗使用食材の内製化の推進

ジョイフルでは全国3ヶ所の自社工場において食の安心・安全の確保と原価率の削減を目的として、ハンバーグやソース類の内製化を行ってまいりました。2019年より鶏切り身などに関しても内製化を進めており、2022年10月には全国のすべての店舗に対して自社工場製品を供給させていただいております。

ジョイフルの工場では2019年11月5日に熊本工場、2020年8月5日に福岡工場、2021年9月1日に愛知工場においてHACCPシステムを導入し、厳しい衛生管理手法を用いることで製品の安全確保に取り組んでおります。引き続き食の安心・安全を確保するために衛生管理に取り組んでまいります。



子ども食堂事業への取り組み

ジョイフルでは社会貢献活動の一環として子ども食堂事業への協力を行っております。

子ども達に提供される食事に対して食材の提供を行うことによりフードロスの削減に努めると共に、子ども達に対して地域の方々との共食の機会を提供することにより、豊かな人格育成、新たな地域コミュニティの構築などに取り組んでおります。



連結財務諸表

Point

資産の部

当連結会計年度末の総資産は29,584百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,216百万円の減少となりました。これは主に、繰延税金資産の増加942百万円、未収入金の減少1,494百万円、有形固定資産の減少741百万円によるものであります。

Point

純資産の部

当連結会計年度末における純資産は5,820百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,565百万円の増加となりました。これは主に、資本剰余金の増加1,951百万円、利益剰余金の増加6,479百万円、資本金の減少5,900百万円によるものであります。

Point

営業損失・経常利益

営業損失(△)は売上高の減少等に加えて、コロナ禍での営業時間短縮中の給与や家賃など各種固定費の負担の影響も大きく、3,104百万円の損失となりました。経常利益は時短営業協力金や雇用調整助成金等の助成金収入が発生したことにより、2,402百万円の利益となりました。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当連結会計年度 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産	7,253	6,150
固定資産	23,547	23,433
有形固定資産	19,369	18,627
無形固定資産	497	424
投資その他の資産	3,679	4,381
資産合計	30,800	29,584
負債の部		
流動負債	10,269	9,103
固定負債	17,276	14,660
負債合計	27,545	23,763
純資産の部		
株主資本	3,172	5,703
資本金	6,000	100
資本剰余金	2,315	4,266
利益剰余金	△ 3,529	2,950
自己株式	△ 1,613	△ 1,613
その他の包括利益累計額	7	51
純資産合計	3,254	5,820
負債純資産合計	30,800	29,584

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 自 2020年7月1日 至 2021年6月30日	当連結会計年度 自 2021年7月1日 至 2022年6月30日
売上高	47,645	46,615
売上原価	15,331	14,905
売上総利益	32,313	31,709
販売費及び一般管理費	35,686	34,814
営業損失(△)	△ 3,373	△ 3,104
営業外収益合計	4,050	5,789
営業外費用合計	248	281
経常利益又は経常損失(△)	429	2,402
特別損失	254	113
減損損失	240	113
法人税等	107	△ 212
法人税、住民税及び事業税	302	763
法人税等調整額	△ 194	△ 976
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	1,799	2,533

※金額は百万円未満を切捨表示しております。

Point

負債の部

当連結会計年度末の負債合計は23,763百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,781百万円の減少となりました。これは主に、買掛金の増加352百万円、未払費用の増加208百万円、未払法人税等の増加331百万円、資産除去債務の増加185百万円、短期借入金の減少2,260百万円、長期借入金の減少2,827百万円によるものであります。

Point

売上高

多様化する消費者ニーズに対応した商品施策の推進や、「お客様に繰り返しご利用いただける店作り」の観点から営業状態の向上に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染症に関して、政府による緊急事態宣言に伴う国民への外出自粛要請や各地方自治体からの営業時間短縮要請による売上高の急減などが影響し、46,615百万円となりました。

Point

親会社株主に帰属する当期純利益

特別利益及び減損損失等により特別損失が発生したこと、並びに法人税等調整額(益)の計上により、2,533百万円の利益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 自 2020年7月1日 至 2021年6月30日	当連結会計年度 自 2021年7月1日 至 2022年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,699	5,571
投資活動によるキャッシュ・フロー	413	152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 946	△ 4,946
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 2,233	790
現金及び現金同等物の期首残高	4,844	2,611
現金及び現金同等物の期末残高	2,611	3,401

Point

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは前期比260百万円減少して152百万円となりました。主な内訳は、定期預金の払戻による収入198百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出△584百万円、有形及び無形固定資産の売却による収入221百万円、敷金及び保証金の回収による収入386百万円、資産除去債務の履行による支出△120百万円であります。

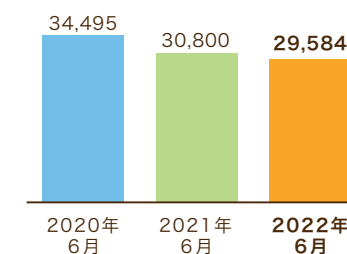
Point

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは前期比4,000百万円減少して△4,946百万円となりました。主な内訳は、短期借入金の純増減額△2,260百万円、長期借入金の返済による支出△2,637百万円です。

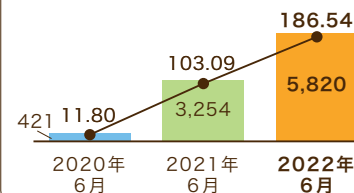
総資産

(単位:百万円)



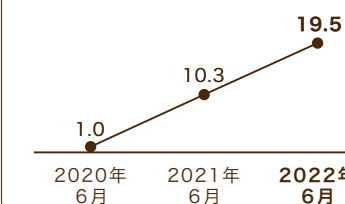
純資産

□ 純資産 (単位:百万円)
● 1株当たり純資産 (単位:円)



自己資本比率

(単位:%)



株式情報

株式の状況

発行可能株式総数
120,000,000株

発行済株式総数
31,931,900株

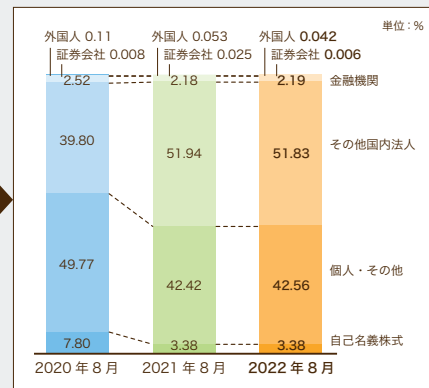
株主数
15,550名

株式の所有者別状況

	2020年8月31日現在		2021年8月31日現在		2022年8月31日現在	
	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)
証券会社	8	2,590	8	8,130	7	2,050
外国人	12	34,492	19	17,100	18	13,700
金融機関	6	803,486	5	697,686	5	698,286
その他国内法人	100	12,709,134	96	16,584,970	94	16,548,710
個人・その他	14,581	15,892,516	15,080	13,544,732	15,425	13,589,872
自己名義株式	1	2,489,682	1	1,079,282	1	1,079,282
合計	14,708	31,931,900	15,209	31,931,900	15,550	31,931,900

※基準日時点の株主名簿に基づき記載しております。

株式の所有者別構成比率の推移



株主メモ

事業年度 毎年7月1日から6月30日
定時株主総会 毎年11月
基準日 定時株主総会の議決権／毎年8月31日
 期末配当金／毎年8月31日
 中間配当金／毎年2月末（中間配当を実施する場合）

単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
郵便物送付先 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部
(電話照会先) TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行(株)の本店および全国各地支店で行っております。

公告の方法 電子公告の方法により行います。但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL <http://www.joyfull.co.jp/>
上場取引所 福岡証券取引所

◎住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
 株主様の口座がある証券会社にお申し出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行(株)にお申し出ください。

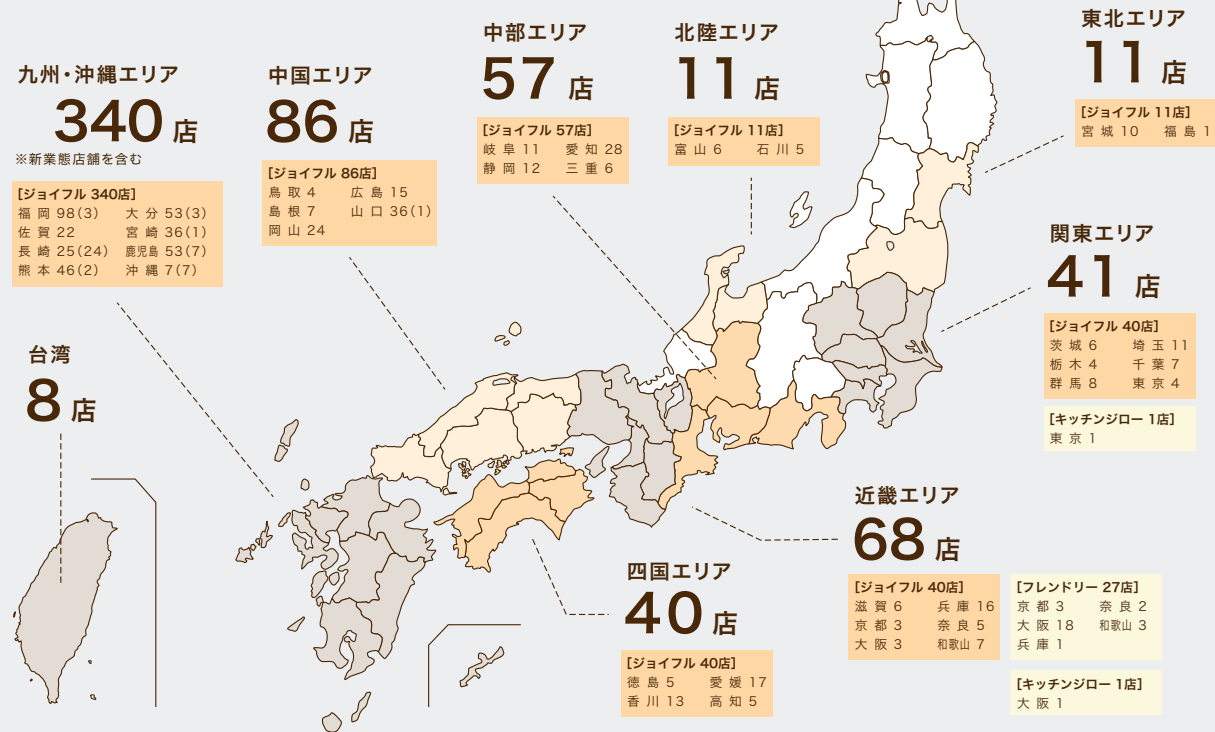
◎株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ
 お取引の証券会社または三井住友信託銀行(株)へお問い合わせ願います。
 専用コールセンター 0120-533-600 受付時間：9:00～17:00
 (土・日・祝日および12/31～1/3を除く)

会社情報・店舗情報

グループ店舗一覧 (2022年6月30日現在)

662店

うちFC店舗48店舗 ※()内はFC店舗
 ※新業態・台湾含む



会社概要 (2022年6月30日現在)

創業 1965年6月	資本金 1億円	連結子会社 株式会社ジョイフル北日本/株式会社ジョイフル東海/株式会社ジョイフル関西/株式会社ジョイフル中国/株式会社ジョイフル四国/株式会社ジョイフル北九州/株式会社ジョイフル中九州/株式会社ジョイフル東九州/株式会社ジョイフル西九州/株式会社ジョイフル南九州/株式会社フレンドリー/株式会社キッチンジロー /台湾珍有福餐飲股份有限公司/株式会社ジョイフルサービス
創立 1976年5月	主な事業内容 「ファミリーレストランジョイフル」のチェーン展開	
社名 株式会社ジョイフル		
大分本社 大分県大分市三川新町1丁目1番45号		
福岡工場・配送センター 福岡県築上郡築上町日奈古186番1号		
熊本工場・配送センター 熊本県菊池市架梁尾字下大迫445番4号		
愛知工場 愛知県豊川市御津町佐脇浜三号地1番17号		